

# 柏の葉スマートシティ（柏の葉スマートシティコンソーシアム）

## ■ 事業のセールスポイント

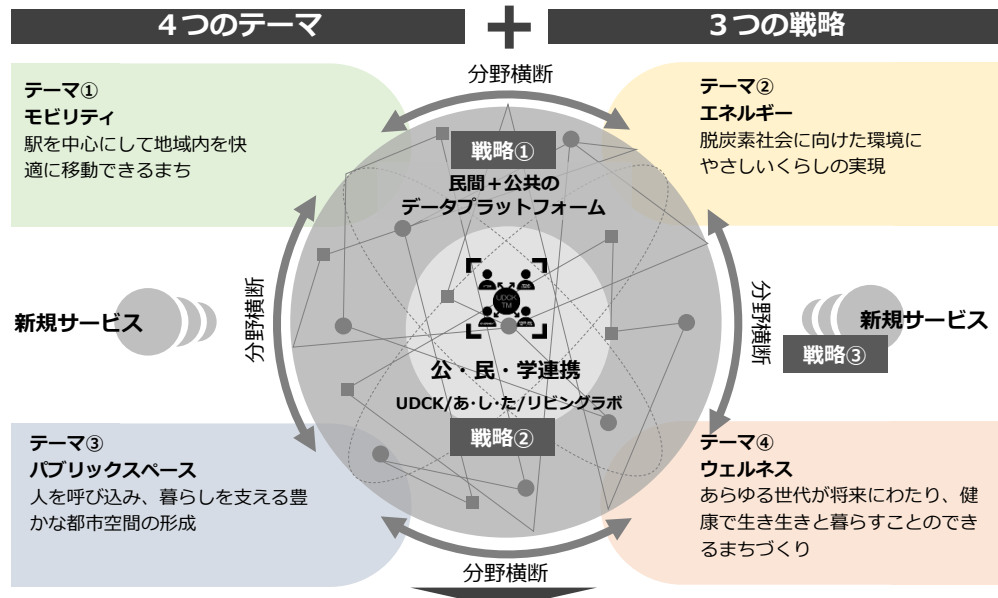
「公・民・学の連携」 + 「データプラットフォームの活用」により、様々なプロジェクトを分野横断的に実施。駅を中心とするスマート・コンパクトシティを具現化する。

## ■ 位置図



## ■ 本事業全体の概要

コンセプト TRY the Future - 進化し続けるまち -

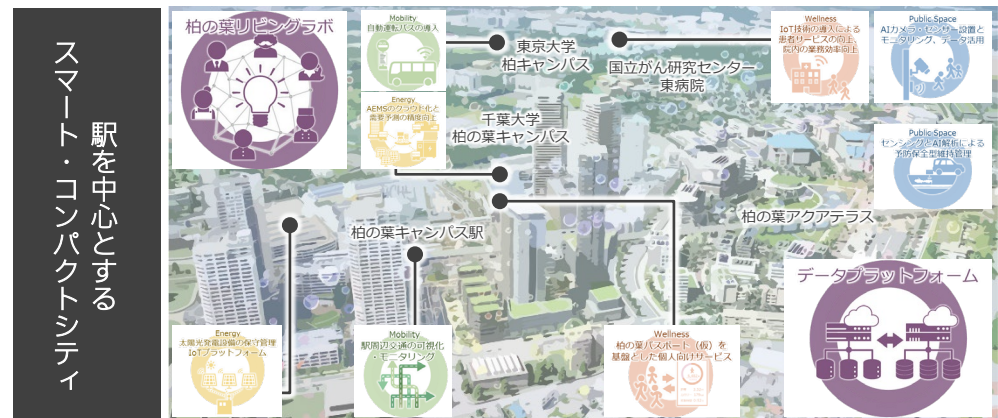


## ■ 対象区域の概要

- つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」の半径2km圏
- 名称：柏の葉スマートシティ
- 面積：約460.7ha
- 人口：14,379人(2019.10.1)

## ■ 対象区域のビジョン

- 「駅を中心とするスマート・コンパクトシティ」
- ・駅周辺エリアに集まるデータの収集と活用
- ・サイバー空間が支えるコンパクトな生活圏の形成
- ・「公・民・学連携」 + 「データ駆動」による地域運営



**戦略 1** 民間+公共のデータプラットフォームの構築

「民間型データプラットフォーム」と「公共型データプラットフォーム」が連携して、データを横断的に活用できる仕組みを構築

**戦略 2** 公・民・学連携のプラットフォームを活用したオープンイノベーションの活性化

強固な公・民・学連携の基盤と既存の多様な市民参加プログラムを活かし、発展させ、地域全体でのオープンイノベーションを促進

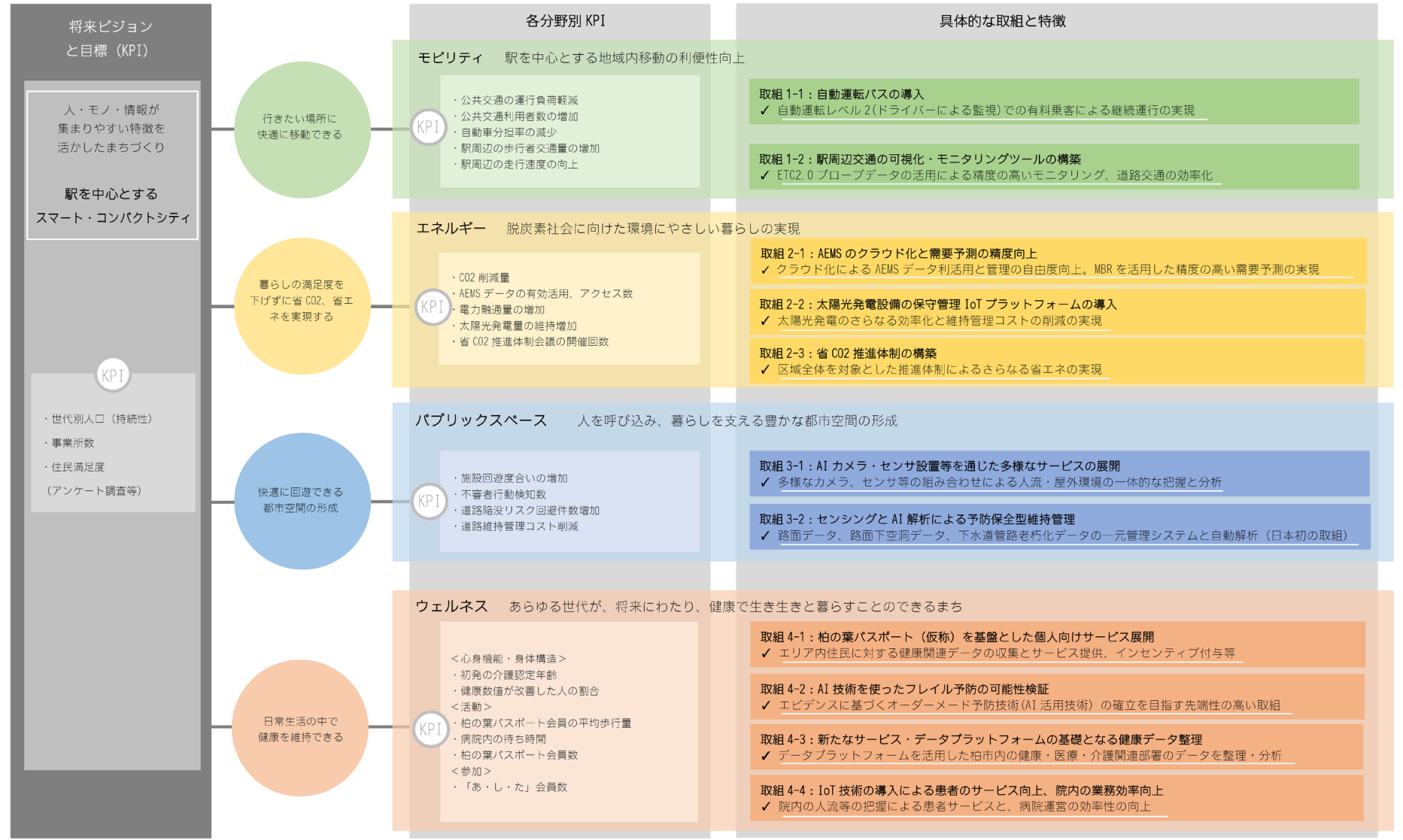
**戦略 3** 分野横断型のサービスの創出

様々なデータや技術を組み合わせることにより、個々の分野にとらわれない、分野横断型のサービスを創出、個人の多様な嗜好に柔軟に対応

# 柏の葉スマートシティ（柏の葉スマートシティコンソーシアム）

## ■ スマートシティの目標(KPIの設定)と導入技術

計画全体のコンセプト及び各カテゴリーのビジョンを実現するため、KPIと具体的な取組を包括的に推進する。



# 柏の葉スマートシティ（柏の葉スマートシティコンソーシアム）

## ■ 運営体制、ビジネスモデル、スケジュール

- UDCK、UDCKタウンマネジメント、柏市、三井不動産を中心に運営体制を構築
- 2020年10月を目途に柏の葉リビングラボを発足、民間型データプラットフォーム本格稼働し、データ連携により各取組を推進

